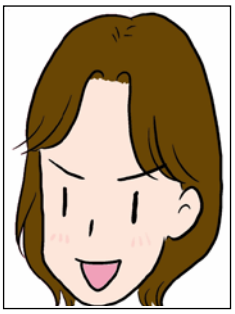
履歴書

2012 年　10 月　5 日現在



ふりがな		
氏　名 K.Y,（Y．K）		
出身地 東京	年齢 （満　３０　歳）	※ 男 ・ 女
参加したNICEボランティア	分野	
国際ワークキャンプ（海外・国内）	教育・農業	満足度
場所 （国･市町村まで記入）	タイ（ソンクラー）・日本（大分県緒方町）	９０％
受け入れ団体	GreenWay・NICE	活動のやりがい度 ９０％

こんなボランティアでした
タイ…インドネシアとの国境近くの小中学校で、一日英語教師体験。森の中のキャンプ地で生活。
日本…農家の作業手伝い。旧公民館に滞在。学童保育の手伝いや、数名に分かれてファームステイ。地元の夏祭りにも参加。

年齢	経歴
１９	津田塾大学　学芸学部　国際関係学科　入学
	別のＮＧＯ団体のボランティア企画で、３週間ネパールへ
２０	知り合いのいる、ベトナムのストリートチルドレン施設へ１週間（個人で）
	内閣府主催の「国際青年の村」参加（個人で）
	ＮＩＣＥの海外ワークキャンプ参加：タイへ約３週間
２１	**ＮＩＣＥの国内ワークキャンプ参加：大分へ約２週間**
２２	アメリカの大学へ一年間交換留学
２３	「ヨーロッパピーススタディツアー」でアウシュビッツや国際平和村などへ（個人で）
２４	高校に英語科教員として就職
３０	休職し、大学で心理学を勉強

趣味・特技	読書、旅。行動力？
座右の銘	「一生勉強　一生青春」

参加までの旅行経験・ボランティア経験
高校時代、カナダへ語学研修
大学時代、ニュージーランドへ語学研修
その他、上記記載。

記入上の注意　１：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。２：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

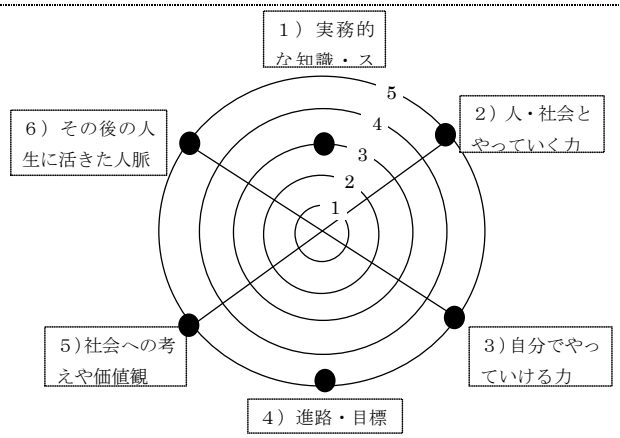
３：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
・大学時代に、９．１１とアフガニスタン空爆があり、衝撃を受け、「世界（特に途上国）では一体何が起きているのか」と自分の目で確かめたくなった。
・中田正一さんの「国際協力の新しい風」を読んで、『一人が動けば何かが変わる』に共感した。
・時間のある大学時代に、多くの場所へ出かけて行って、今しかできないことを体験したかった。
（語学研修では物足りず、ただのパック旅行は、歳をとってからでも行けるので、体力ある内にと！）
・大学で勉強した「人身売買」や「買春」の実態を知りたかった。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
・お金がかかる！→「お金なら後で稼いで何とかできるが、時間は戻らない」と考えた。
・安全面→とにかく調べた。（外務省の危険地域になっていても、行ったら特に問題なかった場所もあった）
・体調面→行く前に予防接種をすることが条件の企画もあったので、して行った。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
反対はされなかった。理解して、サポートしてくれた家族には本当に感謝している。
現地に滞在中、インターネットカフェなどから、家族へメールを送るようにしていた。
ボランティアの費用は、全て自分で出した。（アルバイトを掛け持ちして貯めた）

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
「人生に無駄なことはない」と言うが、まさにその通りで、全ての経験が今現在につながっていると思う。
幸い、職場で、ボランティア体験談を話す機会もあり、毎回反響は大きいです。
もし、進路に直結しないと思っても、回り道になっても良いと思うし、全ての物事が影響し合って、今の自分を作っていると思います。
ワークキャンプを含め、ボランティアで知り合った友達とは、家族のような仲間で、今でも連絡を取って仲良くしている人も大勢います。
今の関心事は、福祉関係で、地元の福祉施設で、ボランティアしたりしています。

成長ダイアグラム　※１）のみ３　他全て５！	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	やらないで後悔するより、やって後悔する方がいいし、どちらを選んでも後悔するなら、後悔の少ないであろう方を選ぶようにしています。 興味関心は、時と共に変わっていくので、今やりたいことを大切に、迷ったら具体的に動くといいと思います。 ただし、中には怪しいＮＧＯ団体もあるので、よく調べた方がいいのも事実です。

※成長ダイアグラム（５＝とても得るものがあった・良くなった。４＝まあまあ得るものがあった・良くなった。３＝前と変わらなかった。影響なし。２＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。１＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）